



座談会

Round Table Discussion

転移性ホルモン感受性前立腺癌に対する 診療の多様化

司会

鈴木 啓悦

東邦大学医療センター佐倉病院
泌尿器科教授

出席者(発言順)

木村 高弘

東京慈恵会医科大学
泌尿器科准教授

中村 和正

浜松医科大学
放射線腫瘍学講座教授

松原 伸晃

国立がん研究センター東病院
乳腺・腫瘍内科

近年、転移性ホルモン感受性前立腺癌(mHSPC)では治療の個別化のためいくつかの分類が試みられており、集学的治療において局所放射線療法や全身療法の強化の位置づけが盛んに議論され、mHSPCの診療は多様化している。そこで今回は、mHSPC診療のエキスパートの先生方にお集まりいただき、大規模臨床試験のエビデンス、real world dataを踏まえたmHSPCへの対応について、今後の展望も含めてご討議いただいた。

SAMPLE